

文書番号	標題	年代	形態	数量	内容	備考
1	正遷宮行烈奉供之次第	文化7年10月22日	豎継紙	1通	姫路神社本社葺替にあたり	包紙あり
2	乍恐奉申上口上	安永9年3月	横継紙	1通	秦下村福谷の徳三郎、和州金剛山高天寺にて銀子借用、近辺村々へ貸付のところ返済滞りの件 徳三郎外名主・五人組頭連署	
3	[願書]	午年4月24日	横継紙	1通	福谷助之丞梓房五郎、津高郡下戸井村にて病死の件、同人はかねて悪病煩い他所働き無願四国遍路などに出ていた由 助之丞外2人→大庄屋八代良蔵	ハンセン病か
4	内済為取替証書之事	弘化3年4月8日	横継紙	1通	久代村金兵衛梓民介が畜鶏に近づいた鷗を鉄砲で撃ったところ、同村伝左衛門梓彦右衛門を傷付けた件、そのとき彦右衛門を背負っていたのは親類の福谷権三郎	
5	備中山北福谷大谷池御普請間米諸入用差引書	庚午(明治3)年12月	横継紙	1通	権三郎・金兵衛外17人連署 福谷里正忠次郎外3人	
6	影村庄屋井口助右衛門銀談懸り合手続之覚	安政2年9月	豎継紙	1通	井口助右衛門梓竹次郎が福谷名主常吉より油稼元手銀子借用のところ返済方差縫れの件 福谷常吉	
7	村中申談之一札	寛政5年2月	豎継紙	1通	当村年々旱損につき新池築造の件 惣百姓連署→名主常介外1人	
8	書上	亥年6月15日	豎継紙	1通	秦下村福谷喜次郎・姉まつ兩人四国遍路出立、予州岩屋寺にてはぐれ、喜次郎のみ帰国、親類幸介がまつを探しに行ったが不明の由 福谷名主常介外2人→芹川与右衛門外1人	
9	乍恐口上	亥年6月15日	豎紙	1通	No.8の件 福谷幸介→大庄屋下原村文兵衛	
10	御注進	亥年7月	豎紙	1通	No.8の件 福谷名主常介外2人→芹川与右衛門	
11	御注進	戌年3月11日	豎継紙	1通	福谷伝蔵方より出火、都合36棟焼失の件 福谷名主常吉外2人→児島後三郎外3人	
12	[類焼人扶持方米頂戴証文]	文政9年4月	豎継紙	1通	No.11の件 福谷辰蔵外10人→児島後三郎	
13	奉願上	寛政4年9月	豎継紙	4通	大風のため秦下村福谷にて長屋13棟潰れ 名主常介外1人→松村八郎左衛門	
14	奉願上	寛政4年9月	豎継紙	3通	大風のため秦下村福谷にて内別部屋7棟潰れ 名主常介外1人→松村八郎左衛門	
15	奉願上	寛政4年9月	豎継紙	1通	大風のため秦下村福谷にて内別部屋6棟潰れ 名主常介外1人→松村八郎左衛門	
16	熟談済一札	天保7年4月	豎継紙	1通	福谷・草田入会山相論内済の件 福谷・草田判頭・惣代、村々名主・大庄屋など34人→篠井作左衛門外1人	
17	[熟談済一札]	天保7年4月	豎継紙	1通	No.10に同じ	前欠
18	山論入用割賦以書付ヲ奉願上候	天保6年12月	豎継紙	1通	福谷・草田山論の件 草田惣百姓惣代・判頭5人→名主常吉外1人	
19	口上	申(天保7)年3月	豎継紙	1通	福谷・草田山論入用の件 福谷名主常吉外1人→大庄屋八代片岡良蔵	
20	乍恐以口上書奉申上候	天保5年8月	豎継紙	1通	福谷・草田山論の件 福谷惣代・判頭17人→名主常吉外1人	
21	口上	申(天保7)年3月	豎継紙	1通	福谷・草田山論の件 福谷名主常吉外1人→大庄屋八代片岡良蔵	
22	見延・楨谷山論場所取扱済口	文化13年8月	豎継紙	1通	見延・楨谷惣代判頭・名主など16人連署	
23	見延・楨谷山論場所取扱済口	文化13年8月22日	豎継紙	1通	No.22に同じ	
24	衆楽講議定書	明治16年2月25日	美・横	1冊	金主鞭木広太外4人→金光秀太郎	
25	備前国御郡々御高村名帳	文政6年	半・横	1冊		
26	蔵書目録	文久元年8月	半・豎	1冊	板野里正(忠治郎)	
27	俚約筋御書出し写口口 福谷	天明3年9月	美・豎	1冊		
28	[城縄張図]	真年9月9日	豎紙	2枚		
29	秦下村之内福谷同処内別草田野山争論吟味下熟談済境立書入	天保7年4月	134.0 × 162.0	1枚	篠井作左衛門・小高恵四郎	秦下村持伝古絵図写
30	[触留]	享保~文化	美・横半	1冊		